

100年前の事件は いま私たちに何を語るのか？

－「木本事件」ツアー事前学習会－

8月30日(日) 午後2時(開場1時30分)

名古屋市民会館 第1会議室
(地下鉄「金山駅」下車北へ徒歩5分)

参加費：800円

100年前に三重県木本町(現在の熊野市)で起きた住民による朝鮮人への虐殺、木本事件。その背景には何があったのか？外国人への攻撃と排除が政府主導でも行われている現在、その残酷な事件は私たちと決して無関係ではない。100年前の事件から私たちは何を学び、何をすべきかについて一緒に考えたい。



講師：劉永昇さん(風媒社編集長)

1963年、名古屋市生まれ。在日コリアン3世。早稲田大学卒業後、雑誌編集者、フリーランスを経て95年、風媒社に入社。98年から同社編集長。雑誌『追伸』同人。著書に『関東大震災 朝鮮人虐殺を読む 流言蜚語が現実を覆うとき』(亜紀書房 2023年)『日本を滅ぼす原発大災害』(共著 風媒社 1994年)、朝日新聞の連載コラムを収録した『本の虫二人抄』(共著 ゆいぽおと 2023年)等。

主催：「韓国併合100年」東海行動実行委員会

中村区那古野1-44-17嶋田ビル2F

Eメール:31demo1919@gmail.com